

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年2月1日

事業所名 いずみの園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・使用する指導室について、事前に職員で打ち合わせている。
	② 職員の配置数は適切であるか	7			・『個別療育』『ペア療育』『小集団療育』それぞれの場合の適切な職員数の配置を行えるよう、時間割を考慮している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			・歩行困難でバギーなど使用している子が2階へ行く際、エレベーターがあると良い。 ・駐車場に屋根がある箇所があると良い。 ・指導室には掲示物をせず、活動に集中できる環境を整えている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			・療育時間後、その都度必ず使用した物を消毒し、1日の終了時には床拭きをする等の清掃を行い、清潔、衛生面に十分配慮している。 ・個々の療育に必要な物のみ指導室に置き、子供にとって不必要な刺激がない環境で過ごせるように勤めている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・事前事後のカンファレンスや園内研究会に全職員が関わり、実践に対して他職員からの捉えも交えて意見交流をし、その後の計画や実践に反映させている。その後、成果等を報告して改善につなげている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・研修開催の情報を逃さないようにしたり、様々な研修に参加できるように時間の確保をしたりしている。 ・研修の機会に恵まれており、職員は積極的に参加している。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・入園時、半期のみならず、必要に応じてアセスメントを行い、支援計画に反映させている。 ・保護者のニーズや職員検討を行い、一人の見解ではない客観的な見方を踏まえた計画を作成している。 ・保護者の同意のもと計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・ペア療育や集団療育では、活動内容や支援の立案を子供一人一人のねらいや前回カンファレンスの内容を元にして、担当療育者同士が事前打ち合わせを行なっている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の指導後に、カンファレンスを行い、子供の実態を踏まえて活動内容に変化をつけている。 ・活動内容を一覧にしたり、日誌で過去の活動を確認したりして、固定化しないように工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・子供の発達を職員で話し合い、個別やペア、小集団療育の取り入れ方や時期について子供にとって無理のないような方法を検討し、個々の発達に合わせて計画をしている。 ・ペア、小集団療育を取り入れる段階に移行する際には事前に保護者に説明をしている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝行なっている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・事後カンファレンスの時間を定めて、必ず行えるようにしている。参加できない職員がいる時や後日確認が必要になった時のために、記録をしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、個別日誌を書いて、子供の捉えや関わり振り返り、課題の気づきをし、次回の療育の計画に繋げている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が担当療育者とモニタリングを行い、計画の見直しをしている。 	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7				
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等連絡体制を整えているか					
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有を図っているか	7				・園訪問や連絡ノートを通じて情報共有と、子供の姿と支援についての共通理解ができるようにしている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7				・学校訪問や学校の先生による本園の参観を通じて、就学前の子供についての情報共有をした。また、就学してからも本園での姿と学校での姿を合わせて相互理解をしたりする機会をもっている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				・積極的に研修に参加したり、専門機関と連携を図る機会を逃さないようにしている。 ・運営を行うにあたり、検討事項が生じた時には場合によって他事業所の取り組みを積極的に尋ねて参考にしている。連絡を取り合うことで、お互い連携を取りやすくしている。今後も、このつながりを大切にしたり、より多くの事業所と連携を深めていけるようにしたりすることで、より良い工夫を行えるようにする。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7			
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7				
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				・毎回の療育で保護者と話すことを大切に、療育後にその日の療育での子供の姿について保護者と話し合うことで、発達の状況を確認している。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7				
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				・入所前と更新時に、保護者一人一人に説明をし同意をえている、
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7				

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との会話で子育ての悩みのつづやきがあった時には、その都度一緒に考えていけるようにしている。 ・相談のケースによって、相談を受ける職員を療育担当者、児童発達支援管理責任者、園長と見極め、必要な助言や支援が行えるようにしている。 ・保護者の相談を受ける時間の確保ができる体制を整えている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・親が集う場を行事として位置づけている。(『いずみいず』『いずみガーデン』)
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、えんだよりをメールで配信している。 ・保護者との連絡体制は、コドモンアプリを使用し、保護者からの連絡が営業時間外でも行えるようになっている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・町内の就学前の子供を持つ保護者対象に行事を行っている。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7			
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを感じた時には、記録をし、職員での回覧と口頭での報告を必ず行なっている。その後、改善方法について職員で検討して決定し、再発防止につながるようにしている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月チェックリストで確認を行っている。 ・園内研修を行なっている。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を行う事例がない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。